

## 戦争と核のない社会を目指す決意固める！！



8月5日～7日、「第24回ヒロシマ現地学習行動」を開催し、150名の仲間が過去に原爆が落とされた広島に立ち、「原爆死没者慰霊式・平和祈念式」への参加や碑めぐりを行い、五感を使い原爆の実相を学びました。

広島に原爆が投下されてから72年となった8月6日、平和記念公園で開催された「原爆死没者慰霊式・平和祈念式」では、広島市・松井一美市長から核禁止条約について、日本政府に対して「核保有国と非保有国との橋渡しに本気で取り組んでほしい」と核禁止条約に反対した日本政府へ苦言を呈しました。また、「平和への誓い」では、子ども代表から「平和を考える場所、広島。平和を誓う場所、広島。未来を考えるスタートの場、広島。あきらめず、粘り強く伝えていく」と力強く訴えられました。その後の碑めぐりでは25名の「碑めぐりガイド」から碑に込められた思いや当時の原爆が落とされた実相を自らの言葉で伝えてきました。

学習講演会では、被爆2世で「被爆証言の会」山岡美知子氏から、母親に教わった当時の体験や原爆の実体、広島が復興に至るまでの経緯を語って頂き、原爆の恐怖や悲惨さだけでなく、原爆によって被爆後も差別を受ける現実など、当たり前前の生活が奪われてしまうことを学びました。

そして、戦争と原爆のない社会の実現に向けて「平和のバトン」を受け取った一人ひとりが、正しく学び、伝え広めることを参加者全体で確認しました。

## 一人ひとりの実践で、憲法9条を守り抜き、平和な未来を切り拓こう！